



【副総裁】
岩田規久男

[いわた・きくお]
昭和17年10月3日生
出身地 東京都

- 昭和 41.3 東京大学経済学部卒業
- 48.3 東京大学大学院経済学研究科
博士課程修了
- 48.4 上智大学経済学部専任講師
- 51.4 上智大学経済学部助教授
- 58.4 上智大学経済学部教授
- 平成 10.4 学習院大学経済学部教授
- 25.3 日本銀行副総裁



【副総裁】
中曾宏

[なかそ・ひろし]
昭和28年10月12日生
出身地 東京都

- 昭和 53.3 東京大学経済学部卒業
- 53.4 日本銀行入行
- 平成 9.5 信用機構局信用機構課長
- 12.4 信用機構局参事役
- 12.6 国際決済銀行へ転出
- 13.6 金融市場局 兼 国際局参事役
- 15.5 金融市場局長
- 20.11 日本銀行理事
- 22.6 日本銀行理事（国際関係統括）
- 24.11 日本銀行理事（国際関係統括）<再任>
- 25.3 日本銀行副総裁



【総裁】
黒田東彦

[くろだ・はるひこ]
昭和19年10月25日生
出身地 福岡県

- 昭和 42.3 東京大学法学部卒業
- 42.4 大蔵省入省
- 62.7 大蔵省国際金融局国際機構課長
- 63.12 大蔵大臣秘書官事務取扱
- 平成 1.8 大蔵省主税局国際租税課長
- 2.7 大蔵省主税局税制第一課長
- 3.6 大蔵省主税局総務課長
- 5.7 国税庁大阪国税局長
- 6.7 大蔵省大臣官房審議官
（国際金融局担当）
- 8.7 大蔵省財政金融研究所長
- 9.7 大蔵省国際金融局長
- 10.6 大蔵省国際局長
- 11.7 財務官
- 15.3 内閣官房参与
- 15.7 内閣官房参与
一橋大学大学院経済学研究科教授
- 17.2 アジア開発銀行総裁
- 25.3 日本銀行総裁
- 25.4 日本銀行総裁<再任>

日本銀行新総裁、新副総裁就任

▼日本銀行の総裁および副総裁が交替しましたので、新しい総裁および副総裁をご紹介します。

短観の調査項目見直しの最終案を公表

（二〇一三年三月八日）

▼日本銀行では、「全国企業短期経済観測調査」（短観）の調査項目の見直しを行い、二〇一四年前半を目途に、新たな項目で調査を開始したいと考えております。

▼今般の見直しでは、①回答負担の軽減を図る趣旨から、相対的にニーズが低い調査項目（計一八項目）を廃止するとともに、②経済物価情勢を的確に把握するうえで有用性が高い「企業の物価見通し」の調査を開始します。これは、「販売価格」（自社の主要な製商品・サービスの国内向け価格）と「物価全般」（消費者物価指数をイメージ）につき、一年後、三年後、五年後の変化率を、具体的な数値の選択肢から選んで頂くものです。加えて、③判断項目「C Pの発行環境」については、現在参考系列として公表している「発行企業ベース」の計数を本系列に変更し公表します。

▼今回の見直しにあたり、昨年十一月に「調査項目の見直し方針」を公表して広く皆様にご意見を募り、本

年三月には寄せられたご意見も踏まえて、「調査項目見直しの最終案」を公表しました。

▼日本銀行としては、皆様からのご意見も踏まえて、今後とも短観の改善を図るべく検討を重ねて参りたいと考えております。

※詳細は日本銀行HPをご覧ください。
http://www.boj.or.jp/research/brp/ron_2013/ron130308a.htm

企業向けサービス価格指数・二〇一〇年基準改定の基本方針を公表

(二〇一三年五月十六日)

▼企業向けサービス価格指数は、企業向けのサービス価格を集計した物価統計です。企業間で取引される財(モノ)の価格を集計した企業物価指数の対となる統計として、毎月集計・公表しています。

この統計では、政府の統計基準に沿って五年に一度、調査対象とするサービスの種類や取引額の構成を見直し、経済構造の変化を統計に反映させる「基準改定」を行っています。

▼今般、二〇一〇年基準改定の基本方針が固まったことから、これを公表し、広く皆様のご意見を募集しま

す。

今回の基準改定のポイントは、①新サービスの取り込みなどによる経済構造の変化の反映、②ウエイトデータの選択、③指数体系の整理と一部見直し、④卸売サービス価格調査の開始の検討、の四点です。

ご意見・ご提案がありましたら、本年七月十六日までにお寄せください。皆様からのご意見も反映した基準改定の最終方針は、二〇一三年度内を目途に公表する予定です。新基準指数への移行は、今のところ二〇一四年度の前半を想定していません。

▼日本銀行としては、統計ユーザーの皆様がより便利にお使いいただけるよう、さまざまな工夫を行っていきたく考えています。

※詳細は日本銀行HPをご覧ください。
http://www.boj.or.jp/research/brp/ron_2013/ron130516a.htm

「日銀春休み親子見学会」開催および

「日銀夏休み親子見学会」のご案内

▼日本銀行本店では、四月二日(火)、三日(水)の二日間にわたり、小学

校四〜六年生および中学生のお子さまとその保護者の方を対象に、「春休み親子見学会」を開催しました。

▼今回の見学会には、合計七四組一六一名の皆様にご参加いただきました。国の重要文化財に指定されている本店本館(旧地下金庫など)や現在窓口業務を行っている新館の見学、日本銀行の仕事や金融経済に関するクイズ、電子拡大鏡を用いた銀行券の偽造防止技術の紹介、一億円の高さ体験やお札の数え方などの体験学習といったプログラムを通じて、皆様には日銀やお金について楽しみながら学んでいただきました。



1億円の重さを体験



親子で参加「にちぎんクイズ」の様様

毎回ご好評をいただいておりますこの親子見学会の次回の開催は、夏休み期間中を予定しております。「日銀に行ってみたい!」「日銀って何をしているところ?」というお子さまの好奇心にお応えします。どうぞご期待ください。

参加は無料です。お申し込み方法も含め、詳しくは日本銀行HPのご案内いたします。皆様方のお越しを心よりお待ちしております。

http://www.boj.or.jp/announce/nts/pr_events/index.htm

編集後記

■ 5月1日をもって情報サービス局長を退任しました。本号の編集が編集長としての最後の仕事となりました。約2年間、8号分の編集に携わりました。楽しくお読み頂ける誌面作りに努めましたが、なかなか思うようにはいかず、反省しております。これまで、ご愛読ありがとうございました。新編集長の下での「にちぎん」もどうぞよろしく願いたします。(鮎瀬)

■ このたび編集長に就任いたしました。日銀に入行して30年近く、広報誌「にちぎん」の編集の仕事は初めてですが、この間、日銀の様々な仕事を経験してきました。実は、一般の皆さんの日常生活と接点を持つ仕事も「意外に？」たくさんあります。この機会に、日銀の仕事を少しでも「幅広く」、そして「現場感覚」で、「分かりやすく」お届けできればと思っております。どうぞよろしく願いたします。(丹治)

※本誌は、全国の日本銀行本支店および貨幣博物館、旧小樽支店金融資料館等でお配りしています。個人の方の定期購読、郵送はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。なお、既刊号全文をPDFファイル形式で日本銀行ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。

(http://www.boj.or.jp/announcements/koho_nichigin/index.htm/)

※本誌に掲載している内容は、必ずしも日本銀行の見解を反映しているものではありません。日本銀行の政策・業務運営に関する公式見解等については、日本銀行ホームページ (<http://www.boj.or.jp/>) をご覧ください。

にちぎん 2013年夏号
編集・発行人 丹治芳樹
発行 日本銀行情報サービス局
〒103-8660
東京都中央区日本橋本石町2-1-1
☎ 03-3277-2405

デザイン 株式会社市川事務所
印刷 音羽印刷株式会社
©日本銀行情報サービス局 禁無断転載

*本誌の用紙は、環境・社会・経済のすべての側面に配慮した厳しい基準に従って適切に管理された森林からの木材を原料としていることを示す、FSC認証紙を使用しています。

「第九回日銀グランプリ」 「キャンパスからの提言」 論文募集中心!

(締め切り九月三十日)

▼「日銀グランプリ」キャンペーンパスからの提言」は日本銀行の金融教育充実に向けた取り組みの一つとして、学生の皆さんを対象に毎年行っています。今年度も応募論文の受け付けを開始しました。

テーマは「わが国の金融への提言」。わが国の金融に関するものであれば、どのように設定していただいても構いません。多くの学生の皆さんからの斬新な提言をお待ちしています!

▼日本銀行ホームページに専用コーナーを設け、概要、第一回から第八

回までの決勝参加チ

ームの作品全文および審

査員講評等を紹介して

います。また、決勝大

会の模様等を収録した

動画(約四分間)も配

信しています。

http://www.boj.or.jp/announcements/nichigin_gp/index.htm/

【お問い合わせ・応募窓口】

日本銀行

情報サービス局

総務企画グループ

〇三ー三二七七一

二四〇五

Post:prt3@boj.

or.jp

学生のための小論文・プレゼンテーションコンテスト

第9回 日銀グランプリ

～キャンパスからの提言～



日銀グランプリは、日本銀行が毎年開催している、学生の皆さんを対象とした金融分野の小論文・プレゼンテーションのコンテストです。多くの皆さんのご応募をお待ちしています!

課題
「わが国の金融への提言」

◎応募資格：現在、大学(短大を含む)、専修学校専門課程に在籍の方(大学院生は除く)。2～4名1組のグループでご応募ください。

◎授賞内容：最優秀賞 / 1チーム(副賞：図書カード15万円)
優秀賞 / 2チーム(副賞：図書カード3万円)
特別賞 / 1チーム(副賞：図書カード3万円)

※応募の詳細は裏面の応募要項および日本銀行ホームページをご覧ください。

締切
9/30
必着

主催 日本銀行
<http://www.boj.or.jp/>